

広島県農業会議だより

がんばる農ひろしま



平成25年3月常任会議員会議 現地調査（東広島市志和町）



1 農業会議第95回総会の開催 …………… 2	7 人・農地プランの取組状況について …………… 5
2 農業委員・農業経営者合同研修会 …………… 2	8 女性農業委員リレー 東広島市農業委員 古川みどりさん …………… 6
3 農業委員会職員課題研修会 …………… 3	9 平成25年度の「農の雇用」事業 …………… 6
4 広島市農業委員会 認定農業者との意見交換会 …………… 3	10 農業雇用改善推進事業について …………… 7
5 東広島市農業委員会 女性農業者と女性農業委員との意見交換会 … 4	11 図書紹介 …………… 8
6 秋の叙勲 広島県観光農業経営者協議会 前会長 平田克明さん … 4	12 編集後記 …………… 8

広島県農業会議

広島市中区大手町4丁目2番16号
TEL 082-545-4146 FAX 082-246-1825

広島県農業会議

検索

<http://h-kaigi.jp/>



1 農業会議第95回総会の開催

3月27日、広島市内において、農業会議第95回総会を開催しました。

冒頭、藏田会長が「TPPについては、国民生活に関わる21分野で協議が進められる。農業に関しては、経済効果だけでなく、増加し続ける世界人口と水問題等に端を発する農作物栽培面積の減少等から食糧危機をも想定した対策の検討が必要であり、野業委員会系統組織は、関係団体等とのネットワークを通じた取組により要請活動等の取組を強化していく」とあいさつしました。

また、湯崎英彦知事をはじめ、4名のご来賓から「農業委員には『人・農地プラン』策定を通じて地域農業の担い手に農地を集積し利用する取組の推進に中心となって尽力いただいている」などのご祝辞を

いただきました。

総会では、平成25年度事業計画や収支予算など9議案についての審議が行われ、原案どおりに決定されました。

TTP交渉参加問題、消費税率引き上げ・相続税課税強化の動きなど農業・農政及び組織をめぐる情勢のもとで活力のある農業・農村の再構築に向けた取組は、待ったなしの状況にあり、農業委員会系統組織の果たすべき役割はより大きくなっています。

農業会議としては、平成23年度から実施している「ひろしま・地域の農地と担い手を守り活かす運動」が最終年となるので、市町農業委員会と連携して、平成25年度の実施方針に基づき諸事業を強力に推進していきます。



総会議案採択の様子



2 農業委員・農業経営者合同研修会



農業委員・農業経営者合同研修会風景

地域農業の発展に向けての幅広い情報を学ぶため、各市町農業委員と農業経営者を対象とした「農業委員・農業経営者合同研修会」を2月27日（水）に広島国際会議場（広島市中区）で開催し、県外から招いた2名の講師から、商売繁盛のコツと、人・農地プランの取り組みで夢の実現に向けた取り組みについての講演を聴きました。

福井県小浜市で箸の製造販売で年商数億円の売り上げを誇る（有）せいわ箸店創業者の木越和夫氏から、商売の成功のポイントは、良い物づくりは当たり前で、お客様が何を求めているかを常に考え、色々なアイデアを出すこと。新しい思考はこれま

での経験や異業種との交流から生まれてくる。出来ない理由を考えるのではなく、どうすれば出来るのかという発想を持つことが大切。など経営発展のヒントになる話題をユーモアあふれる語り口で講演され、受講者の心に残るものとなりました。

もう一人の講師の富山県入善市農業委員長 鍋島太郎氏からは、鍋島氏自らが代表を務める（有）

ドリームファーム（米・野菜・チューリップ等）での取り組みのほか、地域の農業振興のために、いかに「人・農地プラン」づくりに取り組んできたか。今後そのプラン実現のためにどう活動していくか。といった全国の農業委員・農業経営者が考えなければならないテーマについての実践事例をお聴きしました。

3 農業委員会職員課題研修会

2月21日に農地制度の適正な運用を図るため、農業委員会等職員を対象に研修会を実施しました。研修は「農地法関係事務処理ガイドラインの改正」、「農地法Q&A」「農業委員会の見える化の取り組み」、「農地法に関する各種証明事務取扱ガイドライン」「耕作放棄地の情報化」など、当面する実務内容を中心に行いました。またグループ討議では、農業委員会から提出の「違反転用への対応」や「利用状況調査のデータ取りまとめ」について、市町の状況や取組に活発な意見や質問が飛び交い、情報交換が図られていました。今後とも適切な制度の運用に必要な研修会を開催していきます。



意見・情報を交換する研修参加者

4 広島市農業委員会 認定農業者との意見交換会



認定農業者との意見交換会風景

広島市農業委員会（河野信義会長）は、平成16年から毎年開催している認定農業者との意見交換会を2月26日、農業委員11名と認定農業者22名の参加により行われました。

「農業委員会には担い手農業者の意見を農政に届ける役割がある。日頃の思いを聞かせて欲しい」との河野会長のあいさつで始まった意見交換会は、市

街化地域・農業振興地域ごとに3グループに別れて、農業委員が進行役を務め、都市農業における営農の課題について意見を交わされました。

2年前に同市安佐南区に就農した認定農業者からは、「タイムリーな情報提供」「新しい作物へのチャレンジに対する支援」などを求める要望が聞かれたほか、「規模拡大の為の農地が集まらない」「施設整備に対する資金助成の充実が必要」「都市農業と近隣住民との関わりを広げる広報活動」などの意見が出されました。

農業委員からは「情報交換の場づくりを心がけたい」「人・農地プランづくりに認定農業者の意見を出して欲しい」といった発言がありました。

広島市認定農業者協議会の倉本守会長は「我々は市農業を支えていきたいと思っている。農業委員の力を貸して欲しい」と要望されました。

広島市農業委員会では、この意見交換会で聞かれた意見を25年度の農業委員会活動や建議等に活かすこととされています。

東広島市農業委員会（加栗会長）は、2月19日（火）、東広島市役所新庁舎で「女性農業者と女性農業委員との意見交換会」を開催しました。

この意見交換会は、「農業経営において女性の果たす役割は大にも関わらず、現在の農業を取り巻く諸事情、行政の組織改革等により、女性農業者の意見交換やネットワーク構築の場が減少しているの、女性の置かれている現状を知り、農業政策の場に反映させていきたい」と、女性農業委員からの呼びかけで行われました。

当日は女性農業者14名の参加がありました。

大久保女性部会長から「本日は、女性農業者の方には、日頃考えておられるご意見を自由にお話してください。」とあいさつがあり、続いて農業者の営農状況や課題などを話合う意見交換を行いました。

女性農業者からは「東広島市には産地化する土地が少ない。」「今は、若い人たちが農業につく手段がないのが現状。経営等の相談窓口を市に作ってほしい。若い人たちが農業をどう考えているのか今回のような意見交換会をしてみてもどうか。」などの

意見があり、女性農業委員からは、女性が地域社会へ一層の参画できる環境整備と耕作放棄地の解消に向けた意見がありました。

建議等市への要望や女性農業委員として活動していくために参考となる有意義な意見交換会となりました。



女性農業者と女性農業委員との意見交換会風景

平成24年秋の叙勲で、広島県観光農業経営者協議会 前会長の平田克明さん（三次市：（有）平田観光農園 代表取締役会長）が「旭日双光章」を受章されました。

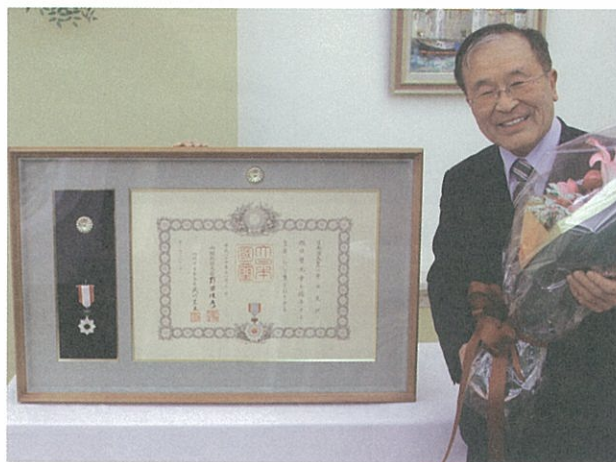
平田さんは、三次市上田町において昭和60年に（有）平田観光農園を設立され、四季を通じて果物が楽しめるオールシーズン型の観光農園経営を確立され、平成16年には日本農林水産祭天皇杯受賞されました。

昭和63年から平成22年まで、広島県観光農業経営者協議会の第3代会長として、県観光農業の振興に大きく貢献いただきました。

また、平成15年から広島県教育委員に就任され、平成21年から24年9月まで県教育委員長として、広島県教育の振興に尽力されてこられました。

こうした功績が評価され受章されたものであります。

おめでとうございます。



「旭日双光章」を受章された平田克明さん



7 人・農地プランの取組状況について

平成24年度から始まった「人・農地プラン」の推進は2年目を迎え、将来を見据えたプランづくりに、地域・集落単位での勉強会も開催されるなど活発な取組が見られています。広島市では新規就農者の定着・規模拡大に「人・農地プラン」の作成が不可欠との認識から、農業委員会も連携して、推進体制の整備、事前調整、集落座談会への参画及び個別調整

が実施されており、東広島市では農業委員会と協議をして、「人・農地プラン作成事業の推進方針」を定め、地域農業の実態に詳しい女性農業委員も「地域の調整役」となって、農区長と連携して集落へプラン作りに向けた働きかけを行う体制が整備されています。担い手の確保、担い手への農地集積には、早期のプラン作成が望まれています。

「人・農地プラン」策定状況（平成25年3月1日現在）

区 分	取組地区数	策定地区数	備 考
広 島 市	7	4	新規就農者の支援
呉 市	3	1	新規就農者の支援
竹 原 市	12		
三 原 市	10	5	集落法人、一般法人、認定農業者等の支援
尾 道 市	3	1	新規就農者の支援
福 山 市	6		
府 中 市	29	3	集落法人、新規就農者の支援
三 次 市	2	2	集落法人の支援
庄 原 市	20	22	
大 竹 市	1		
東 広 島 市	28	11	
廿 日 市 市	5	4	
安芸高田市	17	7	集落法人、認定農業者等の支援
江 田 島 市	1		担い手育成で県と協議中
熊 野 町			
安芸太田町	6		
北 広 島 町	21	21	
大 崎 上 島 町	1	1	
世 羅 町	12	6	
神石高原町	6	1	
計	190	89	





8 女性農業委員リレー

東広島市農業委員 古川みどりさん



3月8日に全国女性農業委員活動推進シンポジウムに参加し、広島県を代表して「女性の熱意と行動で魅力ある農業・農村へ」をテーマに東広島市農業委員会女性部会の活動を報告しました。

報告は、①どうして農業委員になれたのか、②どのようにして9人の女性農業委員が誕生したのか、③任意の女性部会の設立過程、④女性部会の取組状況（小学生との食農教育、人・農地プランの推進、女性農業者との意見交換会）⑤これからの活動についての順に発表し、皆さんの共感を得ました。事例発表は緊張のあまりドキドキでしたが、「パワーポイントを使った説明はとても分かり易かった」と言っていた頂き、責任を果たすことができました。

これからも「元気な農業づくり」が目標ですので、東広島農業の活性化のために男性農業委員とともに頑張っていきたいと思います。



シンポジウムで活動報告する古川委員



9 平成25年度の「農の雇用」事業

全国農業会議所では、各県の農業会議を窓口にして、農業法人等が新たに就農希望者を雇用して実施するOJT研修（最長2年間）に対して助成を行う「農の雇用」事業を平成25年度も実施します。

25年度は3回程度の募集及び研修実施の予定です。詳細については、全国農業会議所ホームページ (<http://www.nca.or.jp/Be-farmer/nounokoyou>) または、広島県農業会議にお問い合わせください。

研修に対する助成

農業法人等が就農希望者（以下「研修生」という。）を新たに雇用し、就農に必要な技術・経営ノウハウ等を習得させるための実践的な研修等に対して助成します。

助成額

研修生1人当たり 年間最大120万円

内訳	新規就業者に対する研修費 ・法人等の研修指導者が研修生に行った指導に要する経費 ・就業上必要な資格取得にかかる講習費、テキスト購入費、受験料等 ・研修実施及び資格取得に必要な交通・宿泊費等	月額最大97,000円
	指導者研修費 ・研修生を指導する者又は経営者等が、農業法人等における人材育成や労務管理等の向上に必要な知識を習得するため、専門的な知識を有する者等から指導を受ける際の謝金やテキスト購入費、研修に必要な交通・宿泊費等	年間最大36,000円

事業参加に当たっての主な要件

- (1) 平成24年9月8日以降に正規の従業員として雇用し、申請日までに就業しており、1週間の所定労働時間が35時間以上であること。
 - (2) 研修生の過去の農業従事経験が5年以内であること。
 - (3) 雇用保険、労災保険に加入すること。
 - (4) 本事業と重複する他の公的助成を受けていないこと。
 - (5) 研修生が農業法人等の代表者の3親等以内でないこと（労働者性が認められる場合を除く）。
 - (6) 研修生の年齢が雇用期間の定めのない正社員としての採用日時点で、原則45歳未満であること。
- ※詳しい応募要件については、募集要領で確認して下さい。

10

農業雇用改善推進事業について

農業会議では、新規就農者の増加と定着を図り農業経営を発展させることを目的に、平成21年度から農業法人等に対する雇用や労務管理に関する助言指導を行っています。具体的な事業活動は、県、労働局・ハローワーク、社会保険労務士等で構成する連絡会議を開催して、就農希望者、受入側の農業法人のご期待に応えるべく事業計画の協議し、研修会を開催しているほか、農業法人等に対する指導相談窓口を設置し、社会保険労務士との連携により、面談・電話・メール等で日常的に対応しています。研修会

の実施状況は、次のとおりです。

なお、平成23年度研修参加経営体へ雇用改善への取組み状況を伺ったところ、経営体の50%で取組んだとの報告がありました。



(研修会の開催状況)

年度	回数	テーマ	参加人数	備考
24	3	①農業雇用を巡る環境と求人状況と助成金の紹介 ②農業雇用改善に向けた経営基盤強化と労務管理 ③就業規則と安全衛生	延べ91人	
23	3	①農業雇用を巡る環境と求人票の書き方 ②賃金の決定方法、経営者・管理者の後継者の育て方 ③従業員採用の課題、労働意欲の向上・責任の持たせ方等	延べ85人	
22	4	①農業雇用を巡る環境と求人票の書き方 ②社会保険の適用、給与計算 ③元気の出る職場環境 ④管理者としての心構え	延べ86人	
21	2	①農業雇用に係る施策の紹介、農業雇用を巡る環境 ②傾聴について、やる気の育て方	延べ66人	

研修テキストシリーズ5 最新版 農地パトロール



農地パトロールの目的・実施方法、さらには、遊休農地の所有者等に対する指導まで解説。「荒廃農地の発生・解消状況に関する調査要領」に対応。

図書コード 24-14
定 価 400円

改訂版 新・よくわかる農地の法律手続き



農地の法律手続きのうち頻度の高い農地の売買・貸借、農地以外への転用、市民農園の開設等について、手続きの流れ図、申請書の記載例、判例等を交えて解説しています。

図書コード 24-34
定 価 2,000円

改訂3版 農業の従業員採用・育成マニュアル



農業の従業員採用・育成に関する実務的なマニュアル書。正社員のほか、パートタイマー、研修生、外国人技能実習生、出向などについても解説。雇用に関して全てを網羅しています。

図書コード 24-37
定 価 3,800円

先進事例に学ぶ 人・農地プラン作成の勘所



「人・農地プラン」作成の事例集。全国8地区から8事例を取り上げているほか、「人・農地プラン」作成の手順や支援制度を簡潔に紹介しています。

図書コード 24-38
定 価 100円

平成25年度からスタートする 経営所得安定対策のあらまし



農業者戸別所得補償制度から支援措置の名称のみが変更されている部分や、支援内容が変更されている部分が見られるパンフレット。研修会の教材として活用いただける内容です。

図書コード 24-39
定 価 100円

お申し込みは
広島県農業会議まで
TEL:082-545-4146
FAX:082-246-1825



編集後記

広島市農業委員会の「認定農業者と語る会」、東広島市農業委員会の「女性農業者と女性農業委員の意見交換会」の記事を掲載させて頂きました。農業委員会系統組織で取り組んでいる「ひろしま地域の農地と担い手を守り活かす運動」の目標の一つに「地域における意見の積み上げや集落内の話し合い活動の展開」を掲げており、全ての農業委員会で取り組んでいただきたいと思っています。

農業会議の平成25年度事業計画の事業推進の重点で、「農業者・地域の声を積み上げ農政に反映させる活動」を掲げております。こうした活動を通じて、農業者・地域の声を集約した提言・要請活動を展開することとしております。

女性農業委員の皆さんの活動も活発になってき

ました。女性農業委員リレーの投稿は毎回新鮮で、前向きな活動姿勢には敬服させられます。

今回は、全国女性農業委員活動シンポジウムで「女性の熱意と行動で魅力ある農業・農村へ」をテーマに取り組まれている東広島市農業委員会女性部会の活動を古川委員さんが報告され、同行された女性農業委員の会の道下会長さんが「参加者から大変参考になる事例報告と高い評価を受けた」話されていました。

集落での徹底した話し合いを通じて策定される「人・農地プラン」にも、農業委員の方々に積極的な取り組みをしていただいております。この結果、2月末時点で14市町の89地区でこのプランが策定されております。

平成25年度は、すべての市町のすべての集落のプラン作成に向けた検討を目標に取り組みを強化していただきたいと思っています。